

東綾瀬小学校



本校では、中学年の総合的な学習の時間において「地域社会 障がい者理解」をテーマに据えて学習を進めています。その中で今年度は「手話出前授業」「盲導犬出前授業」「車椅子体験」の3種類の活動を行いました。

「手話出前授業」では、手話でのあいさつの仕方や普段の生活の様子などを教えていただきました。テレビの字幕や来訪者を知らせるライトがあることなど、耳の不自由な方に物事を伝える方法がたくさんあることに驚きをもった児童が多くいました。

「盲導犬出前授業」では、盲導犬の訓練の様子や普段の生活の様子などを教えていただきました。盲導犬はパートナーとしていつも一緒にいることや、ハーネスを付けているときに注意することなど、具体的な話を聞いて、たくさんのことを学ぶことができました。

「車椅子体験」では、実際に車いすに乗って、自分で動かしたり、友達に押しってもらったりするなどの体験を行いました。車椅子を押す際に気を付けることや段差を越えるときの難しさなど、体験を通して考えることができました。

3つの体験活動から、自分たちで興味をもったことについて、本やインターネットを活用して、調べ学習を行いました。調べ学習を通して、自分たちにはどのようなことができるのかを考え、パンフレットにまとめ、廊下に掲示したり、友達に発表したりしました。